

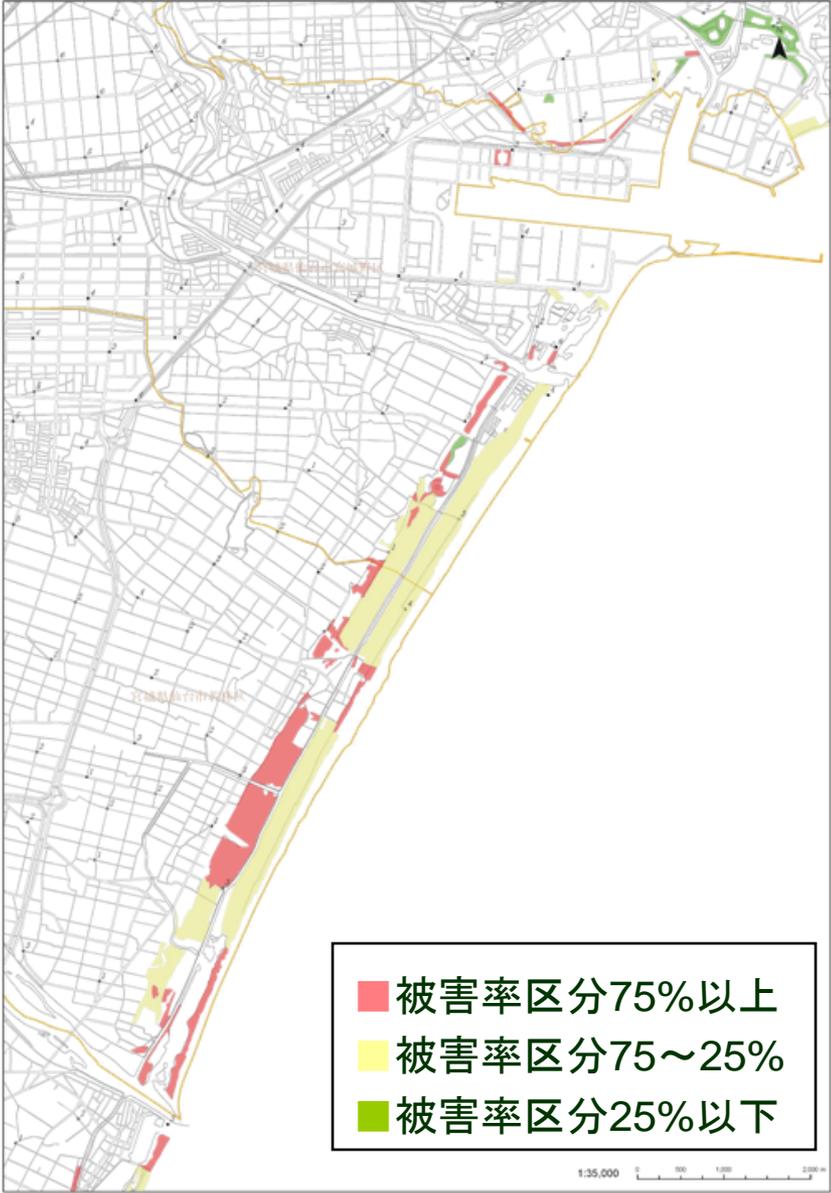
東日本大震災における

仙台市のみどりの被災状況

平成23年10月27日

# 1. みどりの被害状況

# 海岸防災林(マツ林)の被害状況



宮城野区(岡田地区)  
(すじ状に流出)



若林区(荒浜地区)  
(倒木)



若林区(井土地区)

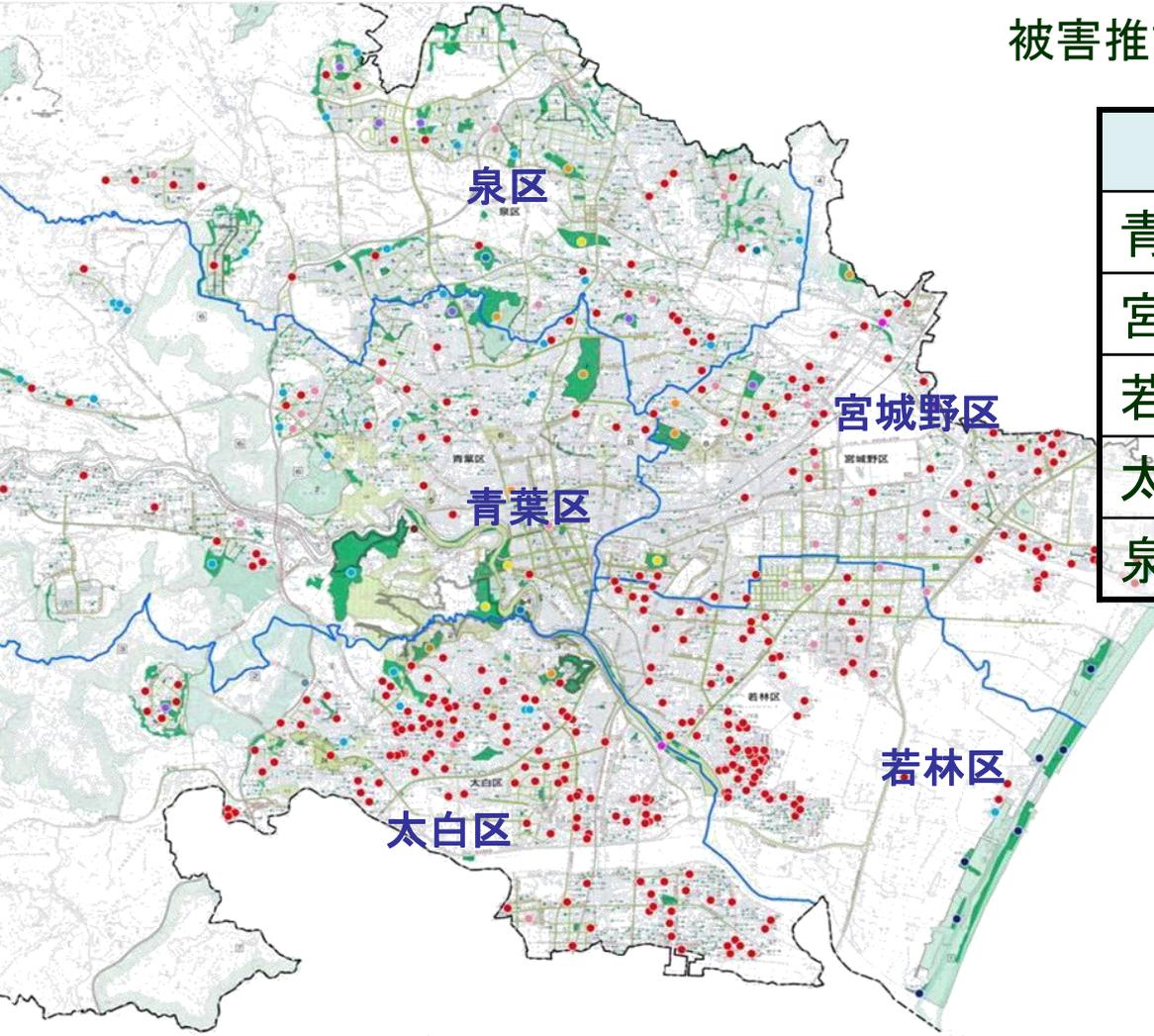
| 被害率区分  |        |       |
|--------|--------|-------|
| 75%以上  | 75~25% | 25%以下 |
| 134 ha | 251 ha | 2 ha  |

市内の海岸林面積387.2haの  
ほぼ全てが被災

# 都市公園の被害の分布

413公園(25.4%)が被災，被害推計総額 約55億円

※被災公園数は、未公告緑地を除いているが  
被害推計総額は未公告緑地の被害を含む。



| 区    | 被災公園数 | 被害率   |
|------|-------|-------|
| 青葉区  | 57    | 13.3% |
| 宮城野区 | 79    | 34.8% |
| 若林区  | 87    | 44.4% |
| 太白区  | 139   | 32.9% |
| 泉区   | 51    | 14.6% |

(平成23年8月時点)

# 主な公園の被害状況

## 海岸公園

津波全壊(センターハウス)



津波全壊(パークゴルフ場)



津波全壊(馬術場)



## 青葉山公園

がけ面の崩落



## 大堤公園

園路や広場の被害



# 主な公園の被害状況

## 七北田公園

管理施設被害(都市緑化ホール)



管理施設被害



園路や広場の被害



## 大年寺山公園

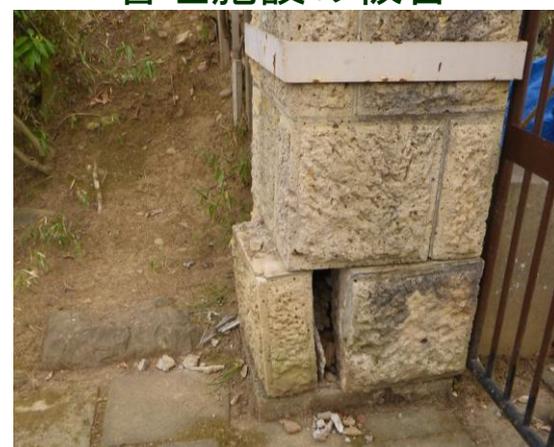
教養施設破損(無尽灯廟)



園路や広場の被害



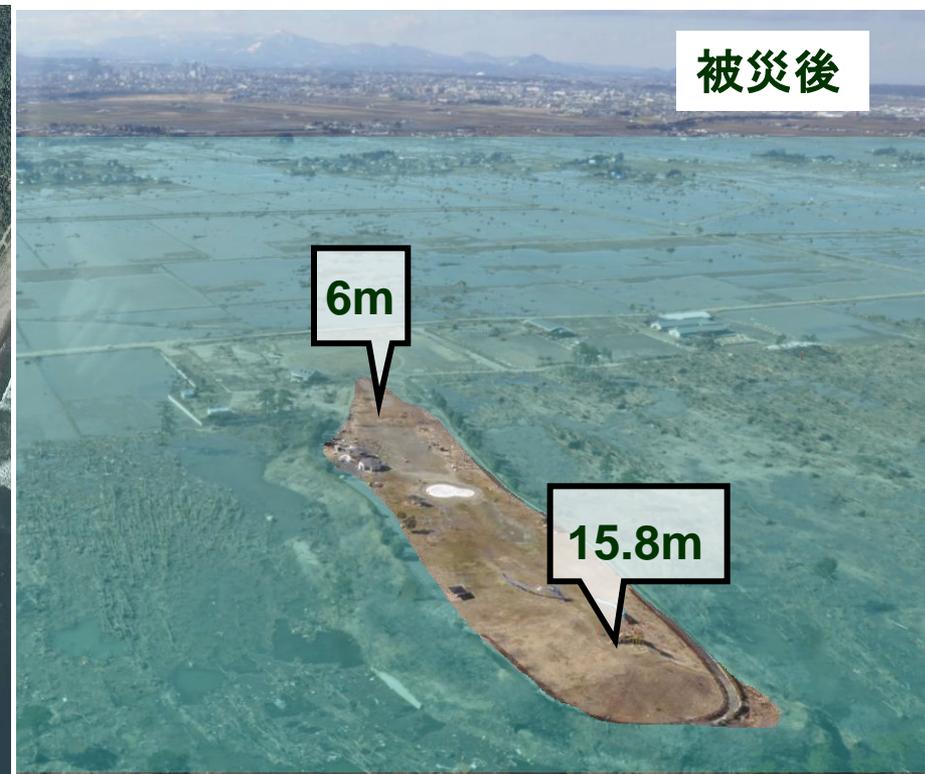
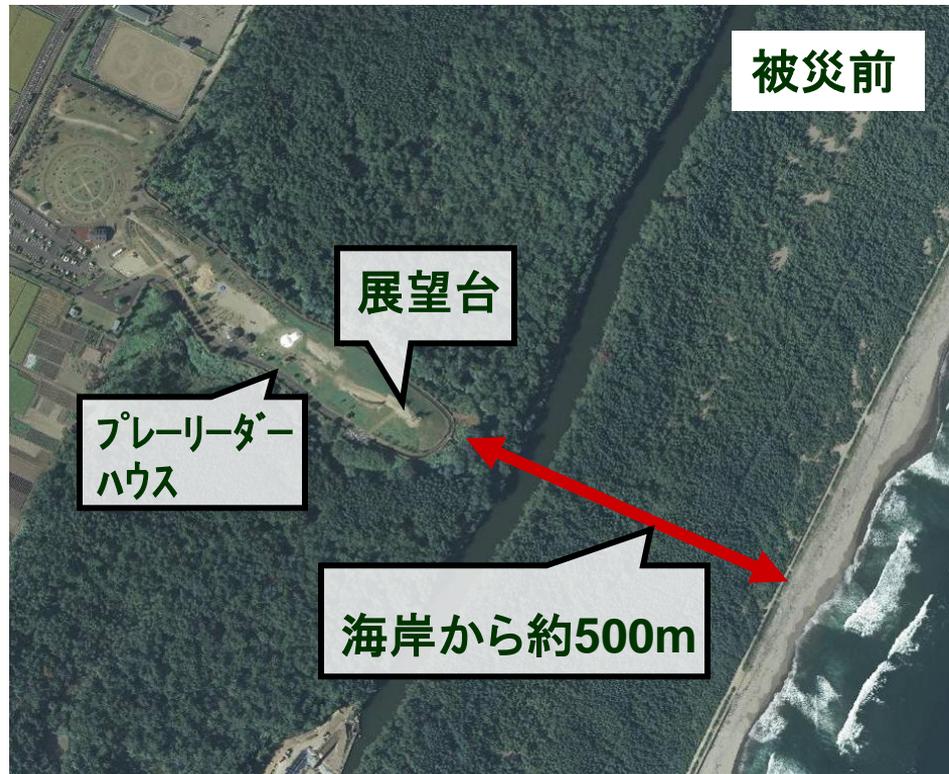
管理施設の被害



# 被害種別からみた公園被害状況

| 被害種別                              | 公園数 | 被害率   |
|-----------------------------------|-----|-------|
| 園路や広場の被害                          | 133 | 32.0% |
| 修景施設の被害(植栽, 花壇, 池, 灯籠など)          | 4   | 1.0%  |
| 休養施設の被害(休憩所, ベンチ, 野外卓など)          | 11  | 2.7%  |
| 遊戯施設の被害(ぶらんこ, 滑り台, 砂場など)          | 74  | 17.9% |
| 運動施設の被害(野球場, テニスコートなど)            | 6   | 1.5%  |
| 教養施設の被害(動物舎, 城跡, 茶室など)            | 9   | 2.2%  |
| 便益施設(売店, 駐車場, 便所, 水飲場など)          | 16  | 3.9%  |
| 管理施設(外柵, よう壁, 照明灯, 掲示板など)         | 194 | 47.0% |
| 泥・がれきの堆積                          | 16  | 3.9%  |
| 津波による全壊                           | 13  | 3.1%  |
| その他の被害(法面の崩壊など)                   | 31  | 7.5%  |
| 合計(同一公園に複数の被害がある為, 公園合計数は413を越える) | 507 | —     |

# 海岸公園冒険広場の事例



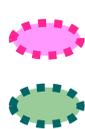
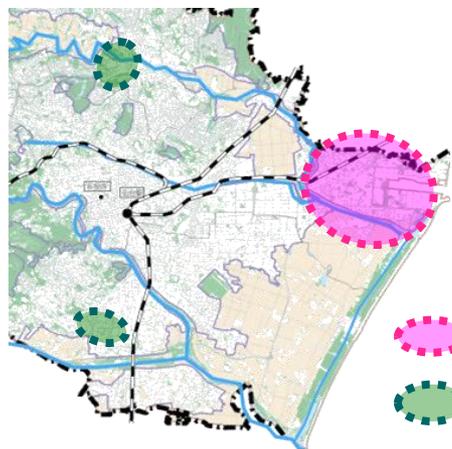
冒険広場の展望台のある高台に5名が避難し、ヘリコプターで救助された

# 津波襲来時の海岸公園冒険広場



# 街路樹の被害状況

- 高木約500本(被害割合:0.8%), 低木約40,000本(被害割合:1.9%)が倒木や浸水により枯損  
(参考:本市の街路樹 高木約5万本, 低木約200万本)
- 被害額総計は約4億円



津波による被害

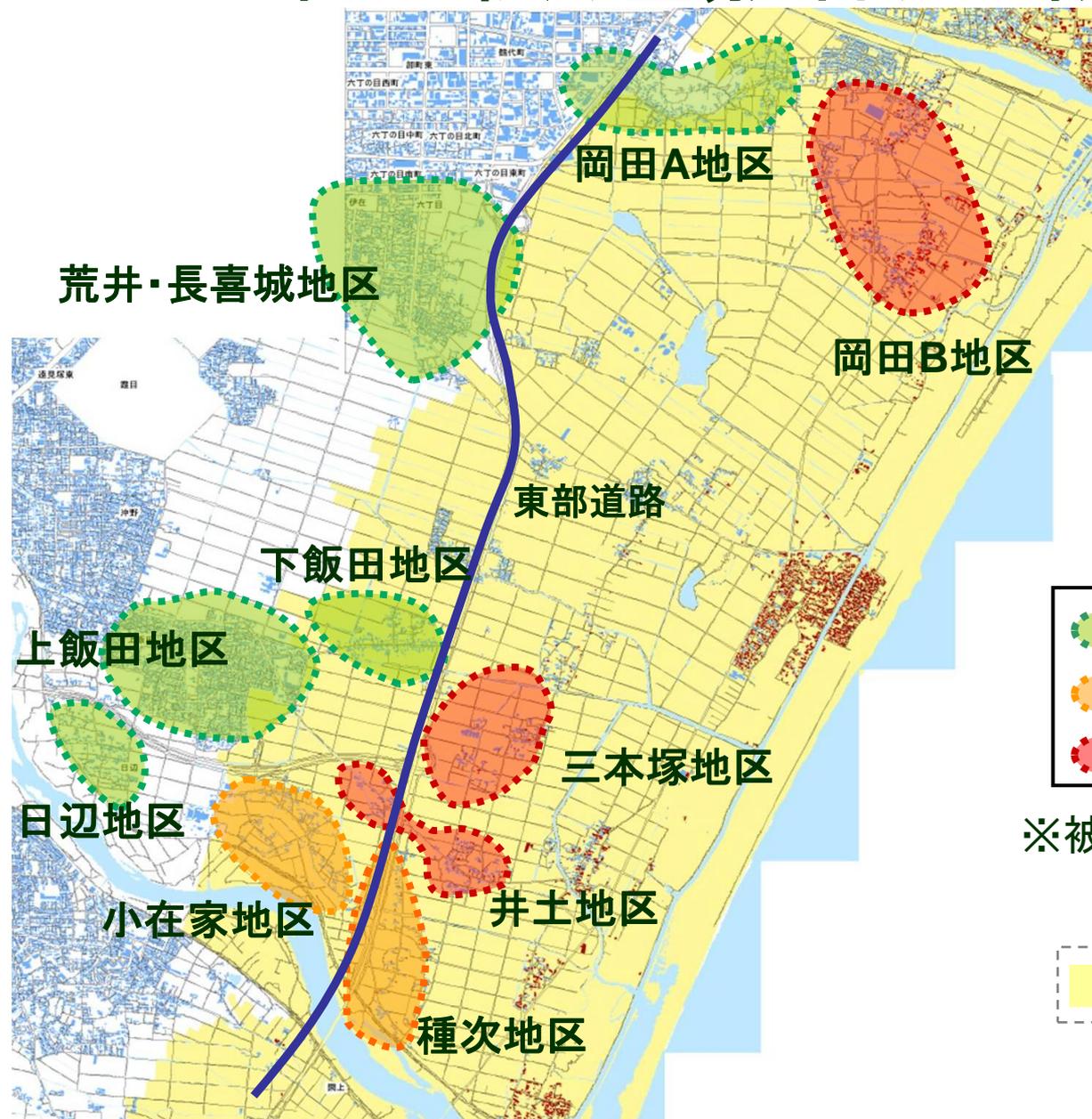
その他の被害

## ■被害の多かった高木樹種

| 樹種    | 本数  |
|-------|-----|
| ヤマモモ  | 130 |
| トウカエデ | 110 |
| サクラ類  | 80  |
| ケヤキ   | 44  |
| コブシ   | 40  |

(平成23年5月時点) 10

# 居久根(屋敷林)の被害状況



被災前の居久根

- 被害率0%の地区
- 被害率50%以下の地区
- 被害率50%以上の地区

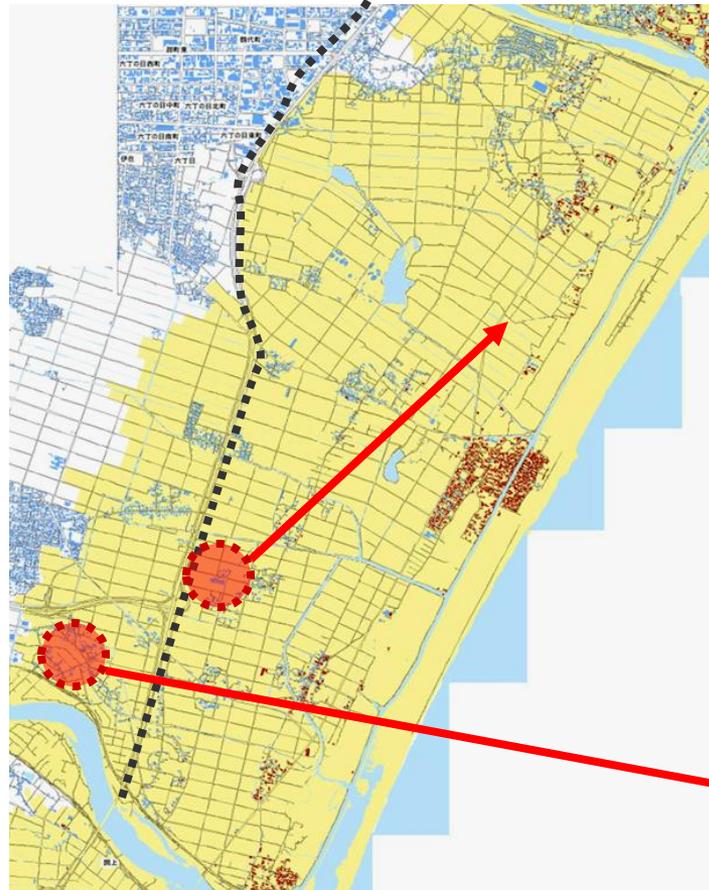
※被害率: 地区内の居久根のうち、被災した居久根の割合

  浸水域

# 居久根の被害事例

## 井土塚地区の居久根

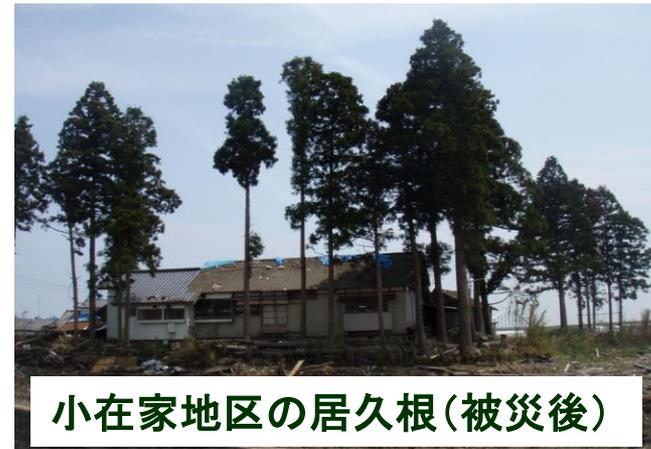
東部道路



被災前



被災後



小在家地区の居久根(被災後)

# 保存樹木の被害状況

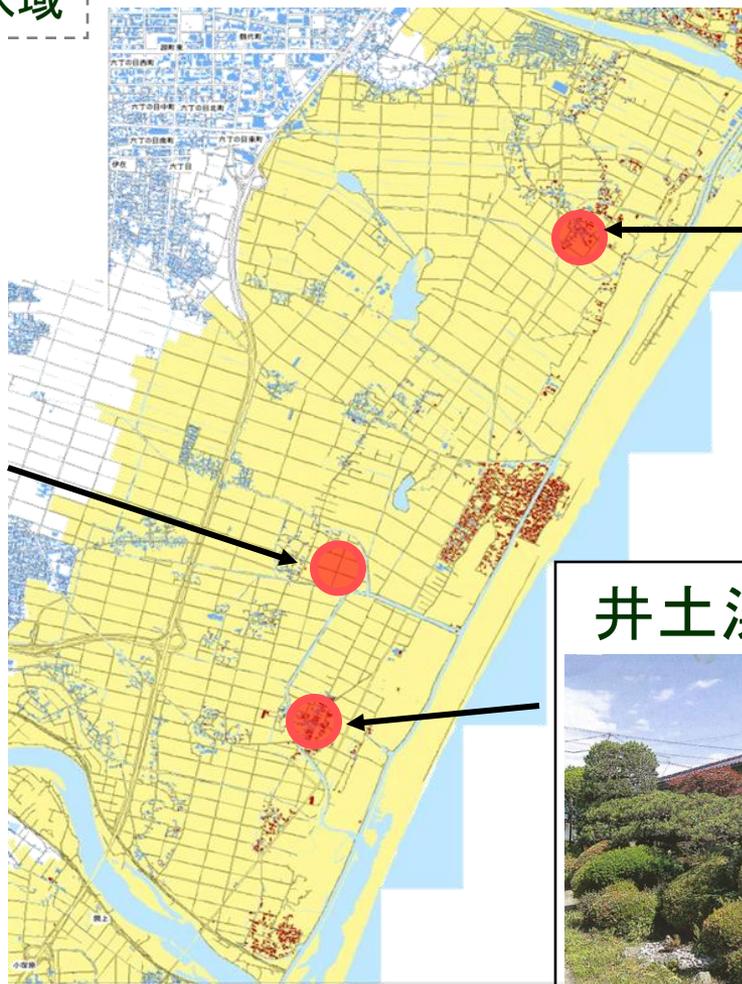
保存樹木：地域を象徴するふるさとの緑として条例で指定  
指定樹木（183本）のうち、3本が被災

浸水域

六郷のかや



枝折れ2箇所  
の他、枯葉が  
見られる



照徳寺のいちよう



芽吹いた葉の  
落葉・枯葉が  
見られる

井土浜の黒松



津波により、  
流出

# 河川の被害状況

市内の9河川(●)で被害(仙台市管轄分のみ)

被害額合計は約8.2億円(平成23年6月現在)

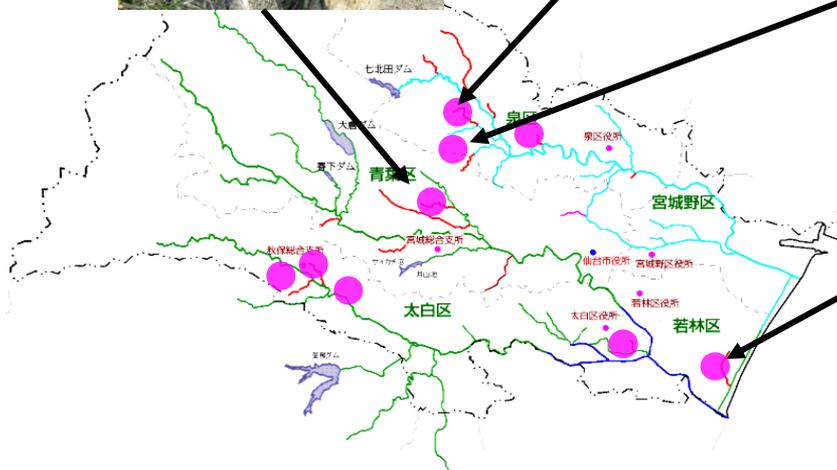
かばさわ  
蒲沢川  
(管理用通路亀裂)



はなわ  
花輪川(土砂崩落)



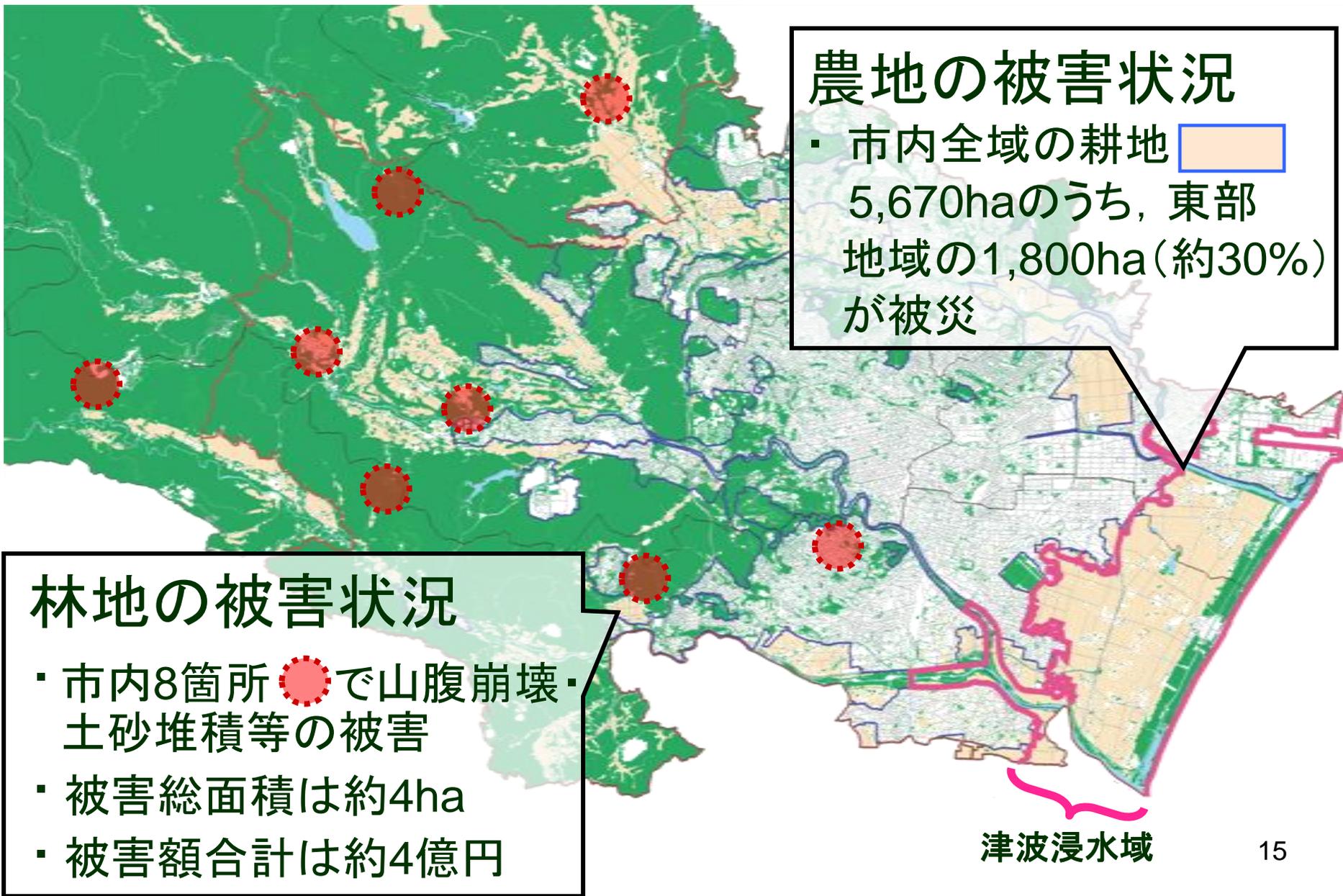
かやば  
萱場川(土羽護岸崩落)



井土浦川(瓦礫土砂堆積)

左:井土新橋上流, 右:井土新橋下流

# 林地・農地の被害状況 (平成23年6月時点)

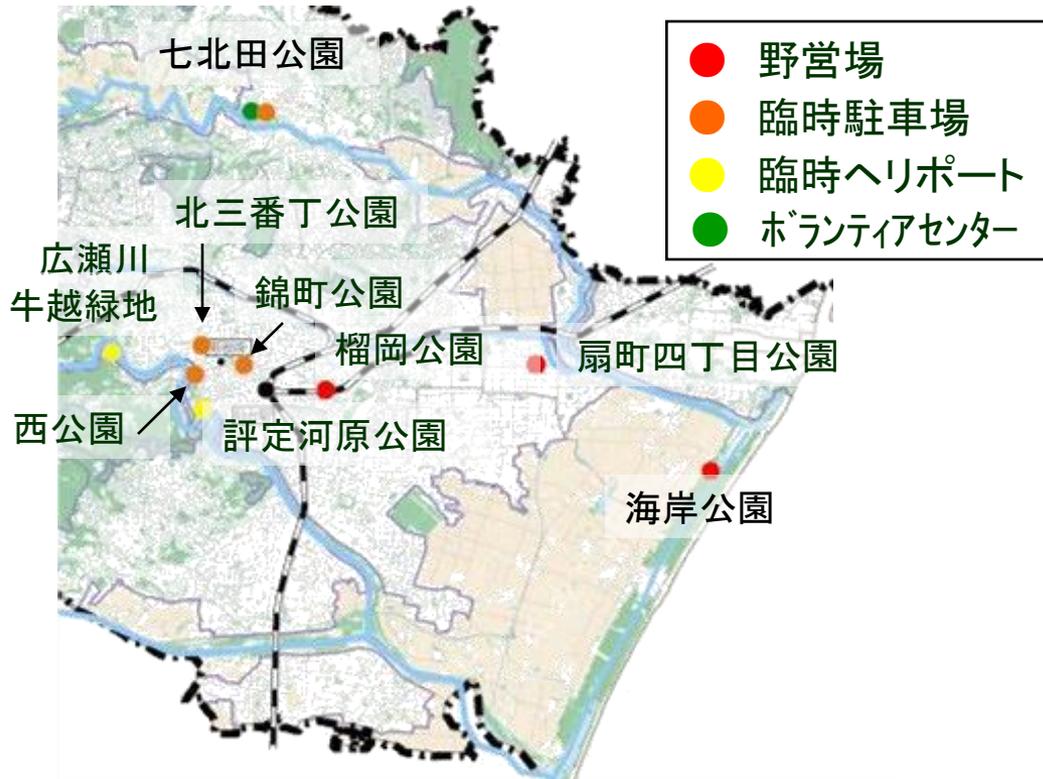


# みどりの被害状況のまとめ

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 海岸防災林 | 387.2haのほぼ全てが被災    |
| 都市公園  | 413公園が被災           |
| 街路樹   | 高木約500本, 低木約4万本が被災 |
| 居久根   | 東部地区の5地区で被災        |
| 保存樹木  | 津波浸水域にある3本が被災      |
| 河川    | 市内で9河川が被災          |
| 林地    | 市内で8箇所が被災          |
| 農地    | 東部耕作地域1,800haが被災   |

## 2. 災害時の公園の利用

# 災害復旧活動拠点



七北田公園体育館(ボランティアセンター)

|            |     |
|------------|-----|
| 野営場        | 3公園 |
| 臨時駐車場      | 4公園 |
| 臨時ヘリポート    | 2公園 |
| ボランティアセンター | 1公園 |



北三番丁公園の臨時駐車場 18

# 震災ごみ仮置場・がれき置場



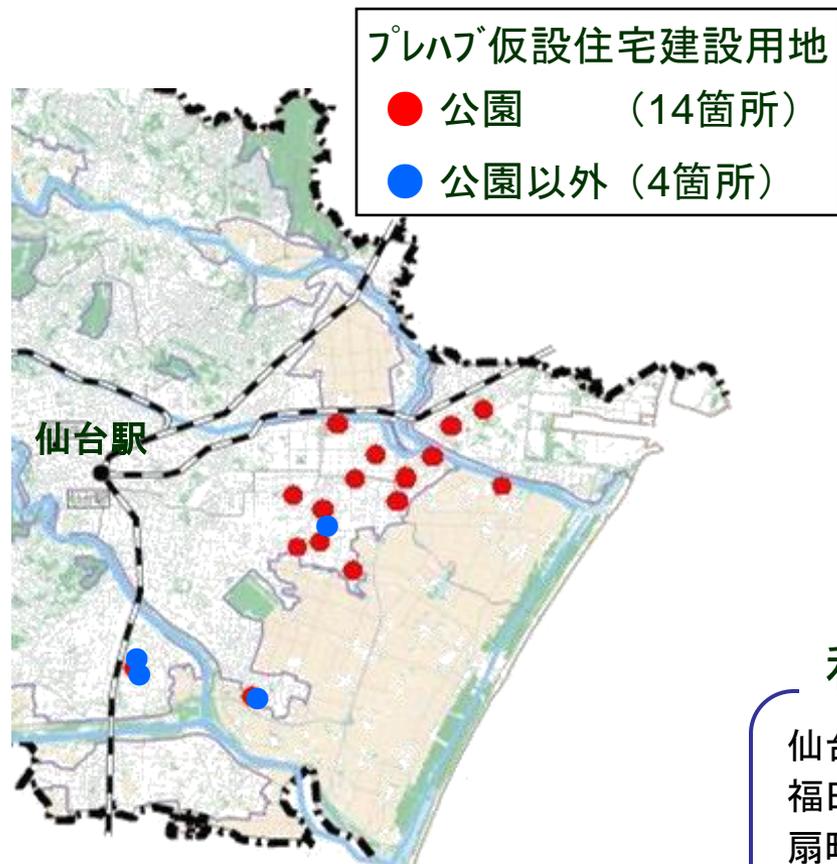
- 震災ごみ仮置場・公園 (9箇所)
- 震災ごみ仮置場・公園以外(1箇所)
- がれき置場・公園 (4箇所)



海岸公園(蒲生地区)のがれき置場

全14箇所の震災ごみ・がれき置場のうち, 13箇所が公園※に設定 (※公園建設予定地含む)

# フレハブ仮設住宅の建設用地



(仙台港背後地6号公園(予定地)の仮設住宅)

## 利用公園一覧

仙台港背後地6号公園, 鶴巻一丁目東公園, 卸町東二丁目公園  
福田町南一丁目公園, 岡田西町公園, 荒井2号公園, 港南西公園  
扇町四丁目公園, 扇町一丁目公園, 七郷中央公園, 荒井7号公園  
六丁の目中町西公園, 卸町五丁目公園, 高砂一丁目公園

全18箇所の仮設住宅のうち, 14箇所が公園※

公園内に881戸(全体の58%)が建設 (※公園建設予定地含む)

# 給水場所など

## 給水場所

全149箇所の給水場所のうち、24箇所(16.1%)が公園。



錦ヶ丘八丁目東公園  
(社)日本公園緑地協会HPより抜粋)

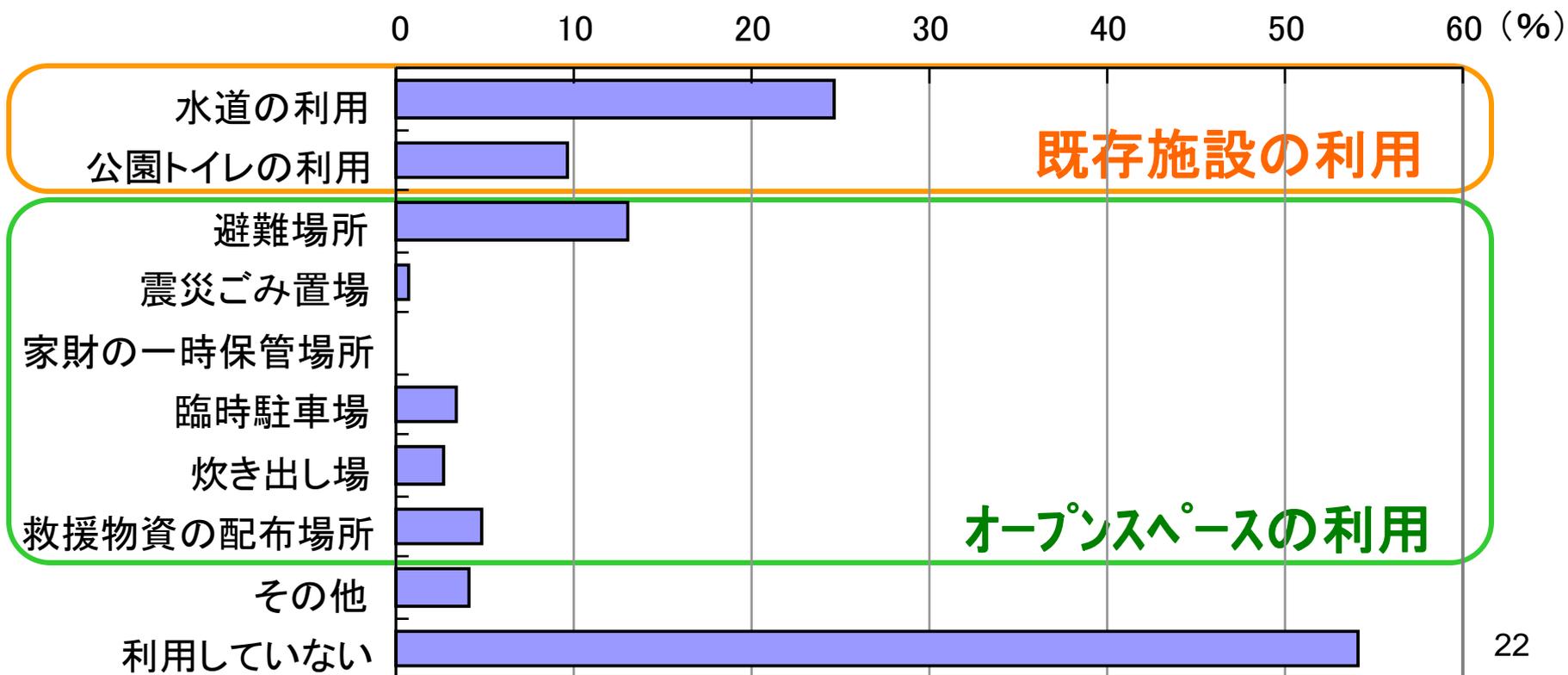
| 利用形態※                     | 公園数  | 主な公園                                   |
|---------------------------|------|--|
| 給水車での提供                   | 21公園 | 長命ヶ丘公園, 南光台三丁目公園<br>紫山公園, 中山公園, 松風公園など |
| 給水ポンプ°, 仮設水槽,<br>貯水槽等での提供 | 4公園  | 台原森林公園, 鉤取三丁目公園など                      |

※重複あり

# 公園愛護協力会アンケート

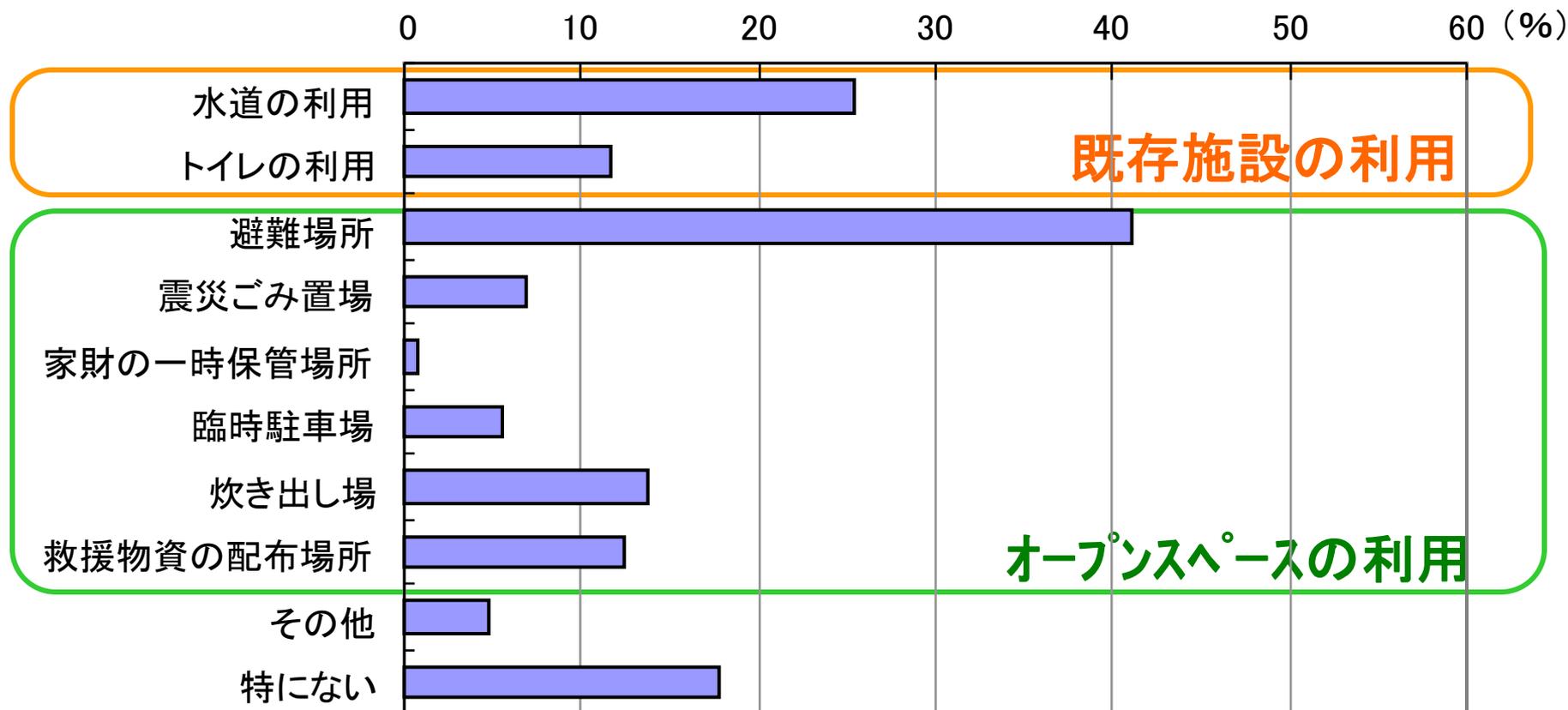
- ・ 調査対象 : 任意抽出した公園愛護協力会 200団体
- ・ 調査期間 : 平成23年9月上旬～下旬
- ・ 回答数 : 146団体(回答率73%) (10月1日時点)

Q: 震災時にどのように公園を利用していたか？



# 公園愛護協力会アンケート結果

Q: 今後、震災時にどのように公園を利用したいか？



避難場所として利用したいという希望が最も多く、次いで、水道の利用の希望が多かった。

# 災害時の公園利用のまとめ

## プレハブ仮設住宅用地

津波被災地及び近接地のオープンスペースがある公園が多く利用された

## 震災ごみ・がれき置場

津波被災地付近の公園のほか、市街化周辺区域に近い都市周辺部の公園が多く利用された

## 災害復旧活動拠点

活動の実施者が集まりやすい地区や被災地の近く等の公園が多く利用された

## 給水場所

給水車が停車する地域のランドマークとして公園が利用された

## 水飲み場やトイレ

断水がない、または断水からの復旧が早い公園が利用された